

令和2年度 施設管理運営事業評価票

1 評価対象施設

公の施設の名称	中山台コミュニティセンター				
所在地	宝塚市中山桜台5丁目15番2号				
指定管理者	団体名	中山台コミュニティ	指定期間	開始日	平成28年4月1日
	所在地	宝塚市中山桜台5丁目15番2号		終了日	令和3年3月31日
選定方法	非公募		評価実施年	指定期間5年のうち4年目	
施設設置目的	地域社会における市民相互の交流及び相互扶助並びに市民の主体的な学習活動等を促進し、連帯感のある新しいコミュニティづくりに資するため。				
主な実施事業	会館管理運営事業				

2 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a 利用回数	回		3478		3168		3315		2967
b 稼働率	%		37.3		37.4		35.8		33.5
c									
d									
e									

3 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:千円)

区分		平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度決算	令和元年度決算
収入計	A	16,725	16,225	16,342	15,735
指定管理料		11,539	11,539	11,539	11,614
利用料収入	C	4,013	3,826	3,878	3,288
自主事業収入		0	0	0	0
その他		1,173	860	925	832
支出計	B	16,448	15,959	16,294	15,562
指定事業費		16,448	15,959	16,294	15,562
内、人件費	D	7,772	7,095	7,326	7,402
内、再委託料	E	2,732	2,578	2,666	2,641
自主事業費		0	0	0	0
事業収支	A-B	277	266	48	173
利用料金比率	C/A	24.0 %	23.6 %	23.7 %	20.9 %
人件費率	D/B	47.3 %	44.5 %	45.0 %	47.6 %
再委託費比率	E/B	16.6 %	16.2 %	16.4 %	17.0 %

- ・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。
- ・着色セルは、自動計算としている。
- ・事業費は、前年度以前の決算を記載する。

補足説明	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月13日から3月31日まで臨時休館とした。
------	---

4 評価

注) 自己評価・・・指定管理者 所管評価・・・施設所管課

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価
① サービスの履行の確認	法例に基づいた点検、報告の実施、個人情報への配慮、保守点検、清掃等の日常業務、緊急・災害時の市への円滑な連絡と協力等、業務の実施状況についての評価を行う。	A	A
② サービスの質の評価	事故防止、安全確保、環境への配慮、利用者に対する接遇、苦情処理への適切な対応等、利用者に提供するサービスの質の水準を評価する。	A	A
③ サービスの安定性の評価	専用の口座、帳簿等を備え、収支計画に沿って適切に経理、予算決算処理がなされているか評価を行う。	A	A
指定管理者所見 (成果、課題等)	<p>①電気設備巡視点検からエレベーターに至るまで定められた保守点検は確実にしている。清掃についても業者による清掃に加え、スタッフも美化を意識して業務に当たっている。個人情報については必要時に連絡を取れるように個人情報の取得自体を最小限にとどめると共に、施設の上事務室内のキャビネットに保管している。緊急時、災害時の緊急連絡網の作成と危機対応マニュアルに沿って市への円滑な連絡と協力をする事としている。</p> <p>②スタッフ全員が明るく、親切で丁寧な対応を心がけており、ご利用者から一定の評価をいただいていると認識している。苦情・要望等については、コミュニティセンターを改善するための貴重な情報との認識で、確認票を作成し、「申出事項」「経緯や補足説明」「対応方針や処置」を明確に記し、全員で共有すると共に改善に努めている。また、利用マナーについて注意を促すため館内にポスターを掲示した。</p> <p>③事業計画、収支計画に沿って適切に運営しているが問題点はご利用者の高齢化により、ご利用者が減少傾向にあり稼働率にも表れてきている。広報誌のコミュニティ11や自治会広報誌などで関連記事を増やしてもらう等々、引き続き地域住民の方達にコミュニティセンターの存在や活動内容の周知を図っていく。なお、収支の改善のために使用料収入に関して、受益者負担を求めることも検討している。</p>		
施設所管課所見 (成果、課題等)	<p>施設目的に沿って適切且つ効率的な管理運営を行っています。施設の維持管理においては、常に利用者の安全性の確保に努められ、危機管理意識が高いと感じます。今後も継続して創意工夫を行い、地域住民が憩える大切な交流の場となる中核的施設として管理を行って下さい。</p>		
前年評価	A	総合評価	A

※評価区分

評価基準:	A (優良) = 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準よりも優れている。
	B (良好) = 協定書、仕様書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	C (要改善) = 協定書、仕様書等に定める要求水準を満足していない。
総合評価:	A (優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B (良好) = 優良、要改善以外の評価
	C (要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。